

だから あなたが祈るときは」

【5日目 御名があがめられますように】

【テーマ聖句】

「そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」（マタイによる福音書 5章16節）

2025年1月12日(日)

私たちは開かれた手紙

あるとき、牧師と教会員の有志が近所の人たちを教会のイベントに招待しようとしたのですが、数名の方から断られてしまいました。牧師は普段親しくしている家族に、断った理由をこっそり尋ねてみました。話を要約すれば、「あなたの教会にはAさんがいるから行きたくないのです。彼はいつも不親切で優しさが感じられず、常に上から目線です。実は彼が裏で後ろめたいことをしているのを知っているのです。彼は不倫をしているし、ペットを虐待したりします。会うときにはいつもイライラしているのも好きになれない理由です」というのが答えでした。驚くと同時に、私自身の生活態度についても改めて考えさせられてしまいました。あなたには思い当たることがないでしょうか？

『主の祈り』は「天におられる、私たちの父よ」という言葉で始まります。神様は全宇宙の神であるだけでなく、私たちのそば近くにいて親密な関係を持ってくださるお方でもあります。そして「御名があがめられますように」と続きます。「あがめられますように」という言葉は、原語（ギリシャ語）ではハギオス（聖なる、神聖な、価値あるという意味の言葉）のかわりに、ハギアゾー（聖別する）という言葉が使われています。神様が聖なるお方であることを、私たちはどのように表すことができるでしょうか？

パウロは、私たち自身が「開かれた手紙」であり、「すべての人に知られ、かつ読まれている（2コリント3:2）」と言っています。1コリント4:9には、「わたしたちは世界中に、天使にも人にも、見せ物となったからです。」と書かれています。人々は神様を見ることができないので、神様を信じている私たちを見ます。私たちの日常のふるまいは、神様をたたえることもあれば、その御名を汚し、教会の印象を誤って伝え、伝道の働きに悪影響を及ぼしてしまうことだってあります。（マタイ5:13～16）

賛美をもって神のみ前に進み、愛する父の前にひざまずきましょう。私たち自身の必要に焦点を当てる前に、まず神様とその御名、栄誉に目を向けましょう。「神は、私たちが神の御名を称えることを求めるようにと願っておられる。どのような場合でも、私たちは自分自身を美化してはならない。私たちは、私たちの品性において神の御名を称えることができるように、恵みと霊的祝福を神に求めるべきである。神の子らがキリストの品性を生活の中であらわすとき、神は栄光を受け、御名は神聖にされる」（原稿 34、15 ページ[英文]）。

次のように祈りましょう。「父なる神様、私が今日行うすべてのことにおいて、あなたを敬うことができるようにしてください。父よ、私が今日行うすべてのことにおいて、あなたをたたえることができるようにしてください。私のすべての行動と言葉をとおして、人々がイエス様のご性質を見ることができるようにさせてください。」また祈りにおいては、神様を敬い、神様に仕えることだけを求めましょう。1ヨハネ5:14には、「何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる。これが神に対するわたしたちの確信です」と書かれています。

私たちはイエスの御名によって祈るべきですが、それは単純に「御名」を唱える以上の意味があります。聖書の時代、「名前」は人格を表しました。イエスの御名によって祈るということは、イエスの御心の中で祈ることであり、イエスとイエスの品性を求めることを意味します。ヤコブ4:3には、「願い求めても、与えられないのは、自分の楽しみのために使おうと、間違った動機で願い求めるからです」と書かれています。「キリストのみ名によって祈ることには多くの意味がある。それはわれわれがキリストの品性を受け入れ、キリストの精神をあらわし、キリストのみわざをなすことを意味する」（『希望への光』 1026 ページ、『各時代の希望』下巻 148～152 ページ）。

もし私たちが、主の御名によって、主の御心の中で賛美し誉めたたえるなら、主は私たちの祈りに答えてくださると約束してくださいました。(ヨハネ 14:13~14、1 ヨハネ 5:14) そして主が祈りに答えてくださったなら、主に心から感謝しましょう。祈りの結果を決して自分の手柄にしてはいけません。サタンは、神様の栄光を自らの栄光にするようにと私たちをそそのかすのです。言葉や行動において謙遜になり、祈りをとおして主に感謝し、ただ主を賛美しましょう。

私たちが日常的に不平不満を口にすると、私たちは神様について誤ったメッセージを人々に伝えていることになります。それは「神様はなんてひどいお方でしょう。私たちを気にかけてくれないばかりか、約束だって守ってくれない」と言っていることになるのです。ですからいつも喜んでいきましょう。(1 テサ 5:16、フィリピ 4:4) 神様を敬い、祈り、話し、行動しましょう。神様を疑っているままで、どうやって信仰を奮い立たせることができるでしょうか？ 不平不満をつぶやきながら、どうやって人々の心を神様に向けさせることができるのでしょうか？

私たちは心からこう祈るべきです。「父なる神様。今日一日、人々の前であなたを正しく表すことができるように私の言葉や行動を守ってください。あなたを讃えることを求め、あなたに従って生活することができるようにしてください。ただあなたの御名を賛美させてください。」さあ共に祈りましょう。

祈りのグループの種類や、祈る方法はさまざまです。今から 30~45 分間、聖霊に導かれるままに、一致した祈りの時間を過ごすことをお勧めします。以下は、御言葉に基づいて祈る祈りの一例です。他の聖句を読んで祈ることもできます。祈りのアイディアについてはリーダーズガイドをご覧ください。

【神のみ言葉によって祈る】

「そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」

(マタイによる福音書 5 章 16 節)

「あなたの光を輝かせなさい」

主よ、あなたこそすべての光の源です。あなたの美しい品性を他の人々が見ることができるように、私たちをとおして輝いてください。私たちが明るく大胆に輝くことができるように助けてください。

「そして、天におられるあなたがたの父をあがめなさい」

主よ、私の中であなたが大きくなり、私はもっと小さくなっていかなければなりません。私を謙遜にして、人々が私の言動の中に神様の愛と力、憐れみを見ることができるようにしてください。

【さらなる祈りの提案】

感謝と讃美： 与えられた祝福を具体的に感謝し、神の恵みを賛美する

告白： 数分間、個人的な告白を行い、神の赦しに感謝する

願い： 現在の課題や決断に知恵を与えてくださるようお願いする

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神が祝福してくださるよう
に祈る

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈る

静かに耳を傾け、応答する： 静かに神の声に耳をかたむけ、賛美と歌で応答する時間をもつ